

じんけんの風

宮崎県人権啓発センターだより
「人権」とは、人間らしく幸せに生きるための権利。だれにとっても身近で大切なものです。思いやりの心をもって、みんなで「じんけんの風」を吹かせましょう。

2022
Autumn
秋号
vol.44

宮崎県人権啓発
シンボルマーク

あなた色 わたし色 みんなすてき色



特集

性的マイノリティと 人権

みんなが自分らしく輝ける社会へ

同和問題(部落差別)について考えましょう

～水平社宣言から 100 年～ 3

啓発事業のご紹介 5

今後のイベントの紹介 6

性的マイノリティと人権

みんなが自分らしく輝ける社会へ

LGBTQ+ って何？

多様な性のあり方に対する社会の理解が進んできていますが、いまだに性的マイノリティ（少数者）であることを理由に差別や偏見に苦しんでいる人もいます。正しい知識を身につけて、みんなが自分らしくいられる社会について考えてみましょう。



LGBTQ 以外にも、誰にも恋愛感情を抱かないアセクシャルや、性自認が男女どちらにも属さないXジェンダーなど、性のあり方は多様です。どれかに分類するのではなく、一人ひとり、その人らしい個性を大切にしましょう。



ひとりひとりを大切にしよう

日本における性的少数者の割合は8.9%（2020年電通ダイバーシティ・ラボ発表）、つまり11人に1人の割合と言えます（＊調査により異なる）。職場や学校、地域に置かえてみると、いかに身近な問題かがわかります。表に見えていないだけで、身近なところにも性的マイノリティの人がいることを前提に、無意識の言動で誰かを傷つけることのないようにしましょう。

気をつけたい
言葉！

ホモ、レズ、オカマ、おなべ、オネエ、おとこおんな



カミングアウト ⇄ アウティング

カミングアウトとは、自身の性自認や性的指向について他者に打ち明けることです。いつ、誰にカミングアウトするかは本人が決めること。誰にも強制されるものではありません。一方、カミングアウトされた側が、本人の許可なく他の人に話してしまうことをアウティングといいます。アウティングは重大な人権侵害です。本人の了解なしに、決して他人に話さないようにしましょう。

TOPIC 1



提供／宮崎県立富島高等学校

選べる自由！ ジェンダーレス制服

性の多様性に配慮して女子がスラックスを選べるなど、県内でもジェンダーレス制服を導入する学校が増えてきています。また、紫外線対策や肌の露出軽減を兼ねたジェンダーレス水着を開発する企業も登場しています。

TOPIC 2

大切な人と、パートナーシップ宣誓制度

パートナーシップ宣誓制度は、宣誓する2人の一方または双方が性的マイノリティである方々を対象として、自治体独自に行う制度で、宣誓を行った証明として宣誓証明書が交付されます。法的効力はありませんが、婚姻同様に取り扱われるサービスがあります。

宮崎県の導入状況

9市町村／26市町村中

宮崎市、延岡市、日南市、日向市、西都市、えびの市、新富町、木城町、門川町で導入されています。（2022年10月現在／HP「みんなのパートナーシップ制度」参照）

夜の街から介護職へ、 自分らしくいられる居場所を見つけた

グループホームや有料老人ホームを運営する有限会社ゆたかに勤める3人の性的マイノリティの皆さん。ゲイを自認するゆうちゃん^ゆとおじょう^お、トランスジェンダーのしょうちゃん^しと、理事長の萩原数代さん^萩にお話を伺いました。



左から、しょうちゃん、ゆうちゃん、萩原幸子さん、おじょう

介護職への転身のきっかけは？

ゆ 3人とも元は宮崎市内のバーで一緒に勤めていた仲間なんです。現在の勤務先の職員である萩原幸子さんがバーのママと親戚で、紹介してくれたことがきっかけで介護の道へ入りました。

萩 最初にゆうちゃんに会ったときの印象は強烈でした。着物姿につけまつげバッチリでしたから。実際に働き出してみると、3人とも利用者さんへの対応がとてもやさしい。膝をついて目線を合わせてお話するなど、接遇マナーもすばらしいです。月1回のお楽しみ会ではドレスアップして歌や踊りを披露し、利用者さんに大好評です。

ゆ 以前は接客やショーでお客様を楽しませたいと思っていましたが、今は食事や入浴のサポートで利用者さんたちを幸せにしてあげたいと思っています。

萩 私を含めいろんな人がいて世の中が成り立っているわけですし、彼ら三人三様の“らしさ”が、利用者さんにもきっといい風を吹かせてくれると感じました。

気づき、葛藤、カミングアウト

し 自分のセクシャリティをはっきり自覚したのは小学校高学年の時です。女の子の友達の家でスカートををはかせてもらってうれしかったのを覚えています。中高生になるといじめられたりもしましたが、女友達が多かったから孤立することはなかったですね。

お 私は中学1年の時に気づきましたが、20歳までは誰にも黙っておこうと決め、その間はずっと葛藤していました。今は3人とも家族や友人にはカミングアウト済みです。

ゆ 周りの友人に恋人ができたり、結婚したりすると、なぜ自分だけ幸せになれないのだろうと悩んだ時期もありました。でも、やっぱり支えてくれたのも友人たちで、そのおかげで今の自分があります。

し 私は心の性に合わせて体の性も変えている途中なんです。最初の手術をするときには両親に伝えました。小さい頃から女の子っぽい子でしたから、「いいよ、わかっているから」とすんなり言ってくれましたね。



利用者さんと一緒に

性的マイノリティであることで、 生きづらいと思ったことは？

ゆ 最初に利用者さんに打ち明けたときは、「やっぱり子どもを作らんといかんよ」と言われる方もいました。カミングアウトしてもいまだに信じてくれない友人もいます。「本当は絶対女性が好きでしょ」って。そう言われるとちょっと悲しいですね。

し 私は普段から女性の格好をしていますが、背が高いから偏見の目で見られることも。一方で、スナックのママが、周囲の方にこの子はトランスジェンダーであると丁寧に説明してくれて救われたこともありました。働く場所にしてもやはり夜のお店が多く、一般企業への就職という選択肢は都会に比べたら宮崎は少ないと感じます。

ゆ 自分は普段の服装はメンズ物ですし、自分とおじょうは「オカマ」と言われても気になりませんが、しょうちゃんはとても嫌な思いをします。性的マイノリティといっても、個性は一人ひとり違うということを知ってもらえるといいですね。

みんなが自分らしく生きやすい社会へ

し コンビニやデパートなど、性別にかかわらず誰でも使えるトイレが増えてきましたよね。また、ジェンダーレス制服はとてもいいことだと思います。ランドセルの色も自由に選べる時代になったし。私も赤いランドセルが欲しかった。

お パートナーシップ宣誓制度についても、相手さえよければ活用したい制度ですね。宮崎でももっと広まってほしいです。

萩 男性、女性とカテゴリ分けするのではなく、人として、一人ひとりと向き合えば、差別や偏見は生まれないと思います。彼らがこうして社会の中で活躍していく姿を見せることが、ほかの悩める人たちの気持ちを楽にしたり、次の世代をもっと生きやすくすることにつながると思うんです。

ゆ 誰もがすべてをオープンにする必要はありませんが、一人で塞ぎこんで心にフタをするのはよくない。自分の場合は友人に打ち明けて心が楽になり、夜の街の門を叩いたことで道が開け、自分に自信が持てるようになりました。

お 誰かに悩みを打ち明けることを恐れないでほしい。身近な人に話にくかったら、いろんな相談機関に頼るのもいいと思います。自分たちも悩んでいる人の力になれる機会があれば、お役に立ちたいと思っています。

相談窓口

一般社団法人 社会的包摂サポートセンター
「よりそいホットライン」

性的マイノリティの専用回線があります。

☎ 0120-279-338 24時間対応

宮崎県弁護士会

弁護士が対応します。家族・友人など当事者以外の相談も可（相談料、相談時間は担当弁護士の基準によります）。

TEL. 0985-22-2466 平日9:00~17:00

性的マイノリティの人権問題相談窓口

宮崎県人権啓発センター

TEL.0985-26-0238 平日9:00~17:00

みんなの人権110番

☎ 0570-003-110 平日8:30~17:15

同和問題（部落差別） について考えましょう

水平社宣言から100年

水平社宣言から100年

1922（大正11）年3月、京都市において、同和問題（部落差別）の解消を目指して部落差別に苦しむ方々が集い、「全国水平社」が創立されるとともに、その創立大会で「水平社宣言」が採択されました。

「人の世に熱あれ、人間に光あれ」という言葉で結ばれたこの宣言は、長い間差別されていた人々が、厳しい差別の解消を求めた訴えとなっており、差別されていた人々が自ら声を上げた世界初の人権宣言とも言われています。

今年は、水平社宣言から100年に当たります。改めて、同和問題（部落差別）について、一緒に考えていきましょう。

同和問題（部落差別）とは

同和問題（部落差別）とは、日本社会の歴史的過程で形づくられた身分的差別により、被差別部落や同和地区などと呼ばれる地域の出身であることやそこに住んでいることを理由に、「結婚を反対される」「就職に際し不利益な取り扱いを受ける」「日常の付き合いを避けられる」といった、日常生活の中でさまざまな差別を受けることがあるという、日本固有の重大かつ深刻な人権問題です。

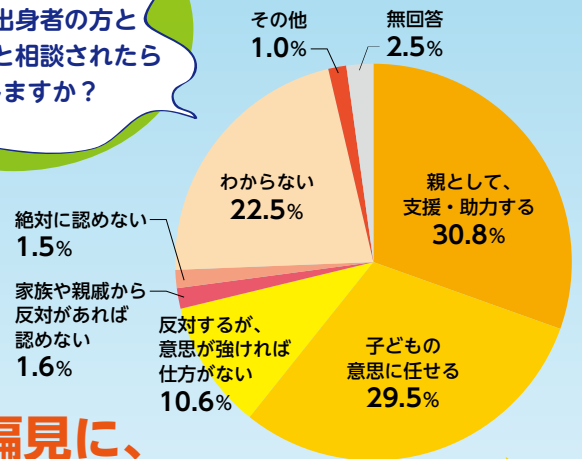
1948（昭和23）年に国際連合が採択した「世界人権宣言」において「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。」とうたわれているように、生まれた場所や住んでいる場所などを理由に不当に差別されることは、絶対にあってはなりません。

しかし、現実には様々な形で差別が存在し、多くの人々が人権を侵害されているという事実があります。



子どもから、
同和地区出身者の方と
結婚したいと相談されたら
どうしますか？

「人権に関する県民意識調査」
2018(平成30)年9月宮崎県実施



根拠のない差別や偏見に、 今も苦しんでいる人がいます

同和问题（部落差別）について、「自分には関係ない」「一部の限られた人たちの問題」と考える人がいるかもしれませんが、本当にそうでしょうか。

差別意識は、普段は影を潜めて見えにくいものですが、日常の交際、就職、教育、結婚等といった自分と利害関係が絡んでくると差別となって現れます。

例えば結婚については、憲法では「両性の合意のみに基づいて成立」とうたわれています。しかし、2018（平成30）年9月に県が実施した「人権に関する県民意識調査」の結果では、「子どもから、同和地区出身者の方と結婚したいと相談されたらどうするか。」という調査項目では、「認めない」「反対する」といった否定的な意見が合計で13.7%となっています。

このことは、同和问题（部落差別）が、決して過去の問題ではなく、現在も続いている問題であることを示しています。

私たち一人ひとりの正しい理解が、 差別のない社会をつくれます

近年、インターネット上での差別的な書き込みが増加するなど、現在もお差別事象が発生している状況を踏まえ、2016（平成28）年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が公布・施行されました。この法律は、部落差別は許されないものであるという認識のもと、部落差別の解消の必要性について国民の理解を深めるよう努めることで、部落差別のない社会を実現することを目指すものです。

同和问题（部落差別）を解決するためには、私たち一人ひとりが、同和问题（部落差別）について正しく理解するとともに、日本社会にまだ根強く残っている偏見に気づき、家庭・学校・職場・地域社会など、身近な生活の中で人権尊重の意識を高めていくことが大切です。

同和问题（部落差別）は、私たちにとって「ひとごと」ではない、現在進行形の重要な人権課題の一つなのです。



出典：公益財団法人人権教育啓発推進センター2021年(令和3年)12月発行
「心ひらこう-部落差別(同和问题)を考えるために-」11ページ

県では、ご希望の方に啓発冊子「人権・同和问题の正しい理解のために」を配布しています。
なお、冊子のデータは、宮崎県人権ホームページ（<https://www.m-jinken.jp>）からもダウンロードできます。



啓発事業のご紹介

県では様々な人権問題の解消のために、啓発事業に取り組んでいます。
これまでに行った事業の一部をご紹介します。

Project 8.9 (大学との連携事業)

7月に宮崎国際大学主催で、虹色ベンチアートを行いました。このプロジェクトは、性的マイノリティの存在をアートを通して可視化し、より多くの人に性的マイノリティを身近に感じてもらうことを目的に行われました。



講演会「発達障害という止まり木」(民間との連携事業)

8月に宮崎LD・発達障がい親の会「フレンド」主催で、落語家の柳家花緑師匠を講師として招いて、講演会を行いました。識字障害をもつ当事者として、花緑師匠が自身の体験を交えながら、周囲の人が当事者の長所をとらえ自己肯定感を高めていくことの大切さを話されました。



県民人権講座

6月に宮崎県男女共同参画地域推進員の黒木瑞季氏を講師として招いて、「性の多様性と人権」をテーマに当事者のかかえる問題や、この問題の解決に向けての思いなどを話していただきました。



\\ 受講者の声 //

とてもためになる講座でした。世の中が「自分らしく」生きていける社会になってほしいと思います。

一人ひとりが正しい知識を知り、行動することで、素敵な未来が来ると信じています。

個性っていいね！フォトコンテスト

8月1日から8月31日の間に、「あなたの個性を現す色」をテーマにInstagramフォトコンテストを行いました。「海の青」、「ヒマワリの黄色」、「夕焼けのオレンジ」等、多数のご応募をいただき、ありがとうございました。

また、特設サイトにおいて、「こんなシーンは「いいね」？「よくないね」？」と題して、日常に潜む人権問題を取り扱っています。「いいね」があふれる社会にするためにどうすればいいのか、一緒に考えてみませんか？



詳細は特設サイトへ
<https://www.m-jinken.jp/kosei/>



12月4日から12月10日は人権週間です！

第74回 人権週間

世界人権宣言が国連総会で採択された12月10日は「人権デー」です。
日本では、この日を最終日とする一週間、12月4日から12月10日までを「人権週間」と定め、
人権尊重意識の高揚を図るため、様々な啓発活動が行われます。

人権フェスティバル

一日人権擁護委員委嘱式や小学生人権ポスターコンテスト表彰式、人権啓発キャラクターとの記念撮影会等を行います。

日時
場所

12月3日(土) 午後(予定) ※詳細は宮崎県人権ホームページをご覧ください
イオンモール宮崎 スペースコート

主催

宮崎県・宮崎県人権啓発推進協議会、
宮崎地方法務局・宮崎県人権擁護委員協議会

みやぎ犬とジンケンジャーが
やって来ます!!

わたしたちに
会いに来てね!!



人権啓発パネル展

県内の児童生徒による人権作品（作文、図画・ポスター）のパネル展示を行います。
会場には2023年版の人権カレンダーや、各種人権啓発資料も取りそろえています。

展示期間
場所

12月5日(月)～12月9日(金) イオンモール宮崎 レストランコート
12月7日(水)～12月25日(日) 宮崎県立図書館1階ギャラリーA



人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん

人権イメージキャラクター
人KENまもる君

県民人権講座

人権が尊重される地域づくりの核となる「人権サポーター」の養成を目的とした、県民人権講座を行っています。
どなたでもご参加でき、参加料は無料です。

12/15(木)

えびの市飯野地区
コミュニティセンター
13時30分～16時00分

講師：増元 照明氏（特定失踪者問題調査会副代表）

【拉致被害者と人権】

北朝鮮当局による拉致被害者、増元るみ子さんの実弟による講演です。拉致被害者の家族の思いや、願いについてお話しをしていただきます。

1/13(金)

宮崎県自治会館
3階 大会議室
13時30分～16時00分

講師：四方 由美氏（宮崎公立大学 教授）

【ハラスメント問題】

女性に対するハラスメントの実態や対処法を中心に、職場での人間関係づくりや、ハラスメント防止に役立つお話しをしていただきます。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、イベントが開催中止となる場合があります。

主 催
お問合せ

宮崎県総合政策部人権同和対策課

TEL.0985-32-4469 FAX.0985-32-4454

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号 県庁8号館6階
(1階が物産館になっている建物です)



宮崎県人権ホームページ



活用してください! 宮崎県人権啓発センター

宮崎県人権啓発センターでは、個人や企業、民間団体等を対象にさまざまな活動を行っています。皆様のご利用をお待ちしています。

研修会を 実施しています!

企業や学校、団体の人権担当の方向けの講座や、一般の方向けのわかりやすい人権講座を開催しています。

講師の派遣や 紹介をしています!

企業や民間団体、家庭教育学級等の研修会への職員派遣や、外部講師の紹介を行っています。

人権に関する相談を 受けています!

人権啓発専門員が人権問題についての相談に応じます。また、相談内容に応じて適切な窓口を紹介します。
専用電話 ☎0985-26-0238

わたしたちの人権講座を 開催しています!

団体、グループを対象にセンター内にある研修室で人権についてわかりやすくお話しします。



宮崎県人権啓発キャラクター ジンケンジャー

ほかにも、人権啓発資料の作成、ホームページでの情報提供、図書・DVD等の貸出(下記)も行っています。

図書・DVD等を貸し出しています

当センターでは、人権に関する図書やDVD等を無料で貸し出しています。個人はもちろん、学校の授業や職場の研修等にご活用ください。貸出利用登録の手続きについては、センターにお尋ねください。

◇貸出冊数及び貸出期間

図書 貸出冊数: 3冊以内 貸出期間: 14日以内
DVD等 貸出本数: 3本以内 貸出期間: 14日以内

◇図書・DVD等について

ライブラリー所蔵の図書・DVD等の種類・内容については、「宮崎県人権ホームページ」に掲載していますので、ご参照ください。また、在庫確認のため、貸出申込みの前に、当センターへお電話くださるようお願いいたします。

360°カメラで
見学しよう!



誰でも気軽に
利用できます!



Q じんけんワイス

宮崎県の人権啓発キャラクターは何でしょう。

- A ジンケンジャー
B みやざき犬 ひいくん
C みやざき犬 むうちゃん

! 今回の記事ページのどこかにヒントがあるよ

アンケートハガキに答えと必要事項をご記入の上、お送りください。正解者の中から抽選で5名の方に、人権啓発グッズを進呈いたします。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

応募締切: 令和5年1月31日(当日消印有効)

編集後記

先日、4歳の娘が「男の子がピンクが好きでもいいんだよ。女の子が電車が好きでもいいの。」と話してくれました。多様性を認める価値観を大事に育んでいきたいなと思いました。㊦

宮崎県人権啓発センター

宮崎市橋通東2-10-1 県庁8号館6階
(宮崎県人権同和対策課内)

TEL.0985-32-4469

FAX.0985-32-4454

情報・ご意見などを
お待ちしております。



<https://www.m-jinken.jp/>



コロナ禍における人権問題が分かりやすくまとめられていて、とても勉強になりました。
(串間市 40代)

コロナ禍での自分自身の人間関係について考えることができました。人権尊重を心がけたいと思いました。
(都城市 50代)